

プログラミング基礎 ループリック ※上位レベルは下位レベルの内容を含むものとする

	C	B	A	S
VBA開発環境(VBE)を活用できる 10%	マクロ記録（操作記録）ができる。マクロの内容を閲覧・修正するために、VBEの該当箇所を開くことができる。	標準モジュールにマクロを追加できる。マクロのコンパイルや実行、一部のデバッグツールを活用できる。	マクロの動作を確認するためのデバッグツールを概ね活用できる。	フォームモジュール設計やフォーム・シートへのイベント記述ができる（どこで設定できるか理解している）。
演算と手続き・関数を活用した基本処理を記述できる 20%	基本的な演算（算術演算や文字列演算）を行うことができる。	組み込みのVBA関数を演算に利用できる。	ユーザ定義プロシージャ（Sub・Function）を適切な引数指定により呼び出すことができる。	Functionプロシージャの戻り値を利用することができる。
処理に応じた適切なデータ構造を活用できる 20%	変数を利用できる（代入・値の参照）	変数や定数を適切なデータ型で宣言した上で利用できる	配列を適切なデータ型で宣言・利用できる	複雑な配列（動的配列・二次元配列）やコレクションを適切に宣言・利用できる
処理の手順を適切な制御構文を用いて記述できる（順次・選択・反復） 20%	順次制御を記述できる	条件を表現でき、基本的な選択制御もしくは反復制御を記述できる	選択制御・反復制御（回数指定・継続条件・終了条件・途中終了）を記述できる	選択制御・反復制御の組み合わせや論理演算・入れ子を用いた処理を記述できる
手続きや関数を独自に定義し、効率的な処理の記述を実現できる 15%	引数の無いSubプロシージャを記述できる	引数を含むSubプロシージャを記述できる	引数の値渡し・参照渡しの違いを説明できる。ユーザ定義関数（Functionプロシージャ）を記述できる。	各イベントに対応するプロシージャを記述できる。
Excel特有のオブジェクトやユーザインタフェースを活用できる 15%	特定セルの値の取得・変更ができる。	セル・ワークシートの主なプロパティとメソッドを利用できる。	メッセージウィンドウや入力ダイアログによる対話処理を実現できる。プロパティやメソッドへの引数指定を適切に行うことができる。	必要に応じてExcelVBAで利用できるオブジェクトについて調べ、自らのプログラムに活用することができる。